

高等学校への支援について

教 頭 高橋 和恵

第四次秋田県特別支援教育総合整備計画により「高等学校特別支援チーム」がスタートして2年目になります。高等学校特別支援チームが行う相談支援内容の一つに、対象生徒の進路指導があります。高等学校卒業後の就職や進学は出口であると同時に、次のステージへの入り口でもあります。実際に、事務局で受ける派遣依頼の相談内容には、生徒の就職や進学に関する相談があります。次のステージへの切れ目ない支援のためにも、今年度の県南地区高等学校特別支援教育研修会は進路指導の充実に焦点化して行いました。主な内容は次のとおりです。

令和6年度 県南地区高等学校特別支援教育研修会

開 催 日：令和6年11月6日（水）

会 場 校：県立横手高等学校

テ ー マ：高等学校における気になる生徒及び支援や配慮を要する生徒の進路指導
～高等学校から進路先へのスムーズな移行を目指して～

話題提供1：就職に向けて～高等学校と公共職業安定所が連携した事例から～

話題提供者：齊藤 衛 氏（横手公共職業安定所 就職支援ナビゲーター）

話題提供2：大学等進学に向けて～大学における学生支援の事例から～

話題提供者：佐藤 昭 氏

（秋田大学 学生支援総合センター 学生サポートルーム
学生支援コーディネーター）

グループ協議・情報交換：就職、進学の各協議グループに分かれて実施

研修会後のアンケートには「学校側と生徒・保護者との丁寧な面談が必要だと改めて実感した。生徒の就業にあたって支援の相談ができる機関が複数あるということを知り、心強く思った」「大学での学生の多様化への対応として建設的な対話をする、学生の病気、障害については相談からスタートし、当事者、家族、保護者とのコミュニケーションを大事にしていることが分かった」「ハローワークでの具体的な就職支援、生活支援センターでの就職時のサポート等、具体的な内容が分かり、大変勉強になった」「進学先への情報提供の仕方について、本人がつながれるようにサポート窓口の情報提供をしたり、つながり方を伝えたりするという点が勉強になった」など多くの感想をいただきました。また、「うまくいった支援方法を共有するという意識が欠けていたことに気付かせていただいた。事例をもっている教員本人が共有まで担うのではなく、関係する分掌部等が中心となって事例を集め、ポジティブな共有を行う方がより効果があると感じた」というように、校内支援体制の機能向上に関わる感想もありました。

最後に、このたびの実りある研修会に御協力賜りました多くの皆様に心より感謝申し上げます。



話題提供1



話題提供2



グループ協議・情報交換